

令和6年度 指定管理者制度導入施設の管理運営状況について

自然環境課

1 施設の概要等

施設名	帝釈公園施設		
所在地	庄原市東城町三坂		
設置目的	すぐれた風景地である自然公園の利用の増進を図り、もって県民の保健、休養及び教化に資する。		
施設・設備	ケビン（5人用、10人用）、オートキャンプ場、多目的ホール（体育館等）等		
指定管理者	5期目	R6.4.1～R11.3.31	（一財）休暇村協会
	4期目	H31.4.1～R6.3.31	（一財）休暇村協会
	3期目	H26.4.1～H31.3.31	（一財）休暇村協会
	2期目	H21.4.1～H26.3.31	（一財）休暇村協会
	1期目	H18.4.1～H21.3.31	（財）休暇村協会

2 施設利用状況

利用状況	年度	目標値 [事業計画]	入場者数	対前年度増減	対目標値増減 (達成率)
	5期	R6	26,000人	38,094人	10,352人
4期平均	R1～R5	23,600人	27,742人	4,380人	4,142人 (117.6%)
3期平均	H26～H30	24,500人	23,362人	△371人	△1,138人 (95.4%)
2期平均	H21～H25	22,600人	23,733人	2,436人	1,133人 (105.0%)
1期平均	H18～H20	—	21,297人	2,341人	—
	H17 (導入前)	—	18,956人	—	—
増減理由	大学生の合宿の増や企業のオリエンテーションが新規に開催されたことにより、多目的ホールの利用が増加したことで目標の達成に繋がった。				

3 利用者ニーズの把握と対応

調査実施内容	【実施方法】	【対象・人数】
	アンケートの実施	施設利用者 214件
	【主な意見】	【その対応状況】
	フリーWi-Fiが欲しい	改善要望事項として情報を共有した。

4 県の業務点検等の状況

項目	実績	備考
報告書	年度	○ 事業報告書
	月報	○ 月次業務報告書
	日報 (必要随時)	—
管理運営会議 (3回・現地)	【特記事項等】 施設の不具合などの現状把握と適切な対応	【指定管理者の意見】 施設の老朽化に対し、必要に応じて改修・修繕箇所を県と協議する。 【県の対応】 施設の安全な利用を確保するため、指定管理者と調整し、ケビンのドアクローザーや消防設備等の修繕や危険木の伐採を実施した。
現地調査 (6月、12月)		

5 県委託料の状況

(単位：千円)

県委託料 (決算額)	年度		金額	対前年度増減	料金 収入 (決算額)	年度		金額	対前年度増減
	5期	R6				5期	R6		
			4,429	△562				55,336	△1,149
	4期平均 R1～R5		4,991	3,139		4期平均 R1～R5		56,485	3,029
	3期平均 H26～H30		1,852	52		3期平均 H26～H30		53,456	11,607
	2期平均 H21～H25		1,800	△531		2期平均 H21～H25		41,849	2,087
	1期平均 H18～H20		2,331	△660		1期平均 H18～H20		39,762	2,128
	H17 (導入前)		2,991	—		H17 (導入前)		37,634	—

6 管理経費の状況

(単位：千円)

項目		R6 決算額	R5 決算額	前年度差	主な増減理由等	
事業	収入	県委託料	4,429	4,971	△542	燃料高騰補償分の減
		料金収入(※1)	55,336	65,538	△10,202	G7広島サミット関連宿泊者の受入れ終了に伴う減
		その他収入	452	480	△28	
		計(A)	60,217	70,989	△10,772	
	支出	人件費	31,641	34,758	△3,117	繁忙期における臨時職員の減
		光熱水費	7,964	8,657	△693	宿泊者減に伴う減
		設備等保守点検費	1,338	1,463	△125	
		清掃・警備費等	6,044	7,256	△1,212	宿泊者減に伴う洗濯費・消耗品費の減
		施設維持修繕費	599	595	4	
		事務局費	5,211	5,869	△658	旅行会社経由の予約の減による手数料の減
		その他	4,790	5,488	△698	貸出備品の仕入額の減
		計(B)	57,587	64,086	△6,499	
		収支①(A-B)	2,630	6,903	△4,273	
自主事業 (※2)	収入(C)	2,754	3,164	△410		
	支出(D)	2,857	2,834	23		
	収支②(C-D)	△103	330	△433		
合計収支(①+②)		2,527	7,233	△4,706		

※1 利用料金制：公の施設の使用料について、指定管理者が直接使用料等を収入することができる制度。指定管理者の自主的な経営努力を発揮しやすくする効果が期待され、地方公共団体及び指定管理者の会計事務の効率化が図られる。

※2 自主事業：指定管理者が自らの責任で、更なる施設サービスの向上のために提案・実施する事業
令和5年度報告までは、自主事業の収支は委託事業に含めていたが、令和6年度報告から分けて記載することとした。

7 管理運営状況

項目		指定管理者 (事業計画、主な取組、新たな取組など)	県の評価
施設の効用発揮	○施設の設置目的に沿った業務実績	施設の利用促進のため、セールスを実施したほか、ホテル客室清掃係をケビンの清掃業務に充てることより、清潔さを維持し、利用者の満足度を高めた。	施設の清潔さを維持する対策を実施することにより、利用者の満足度を高め、更なる利用促進に努めている。
	○業務の実施による、県民サービスの向上	朝の散歩会や星空観察会など、施設の特徴を活用したプログラムを行った。	施設の特徴を生かしたプログラムにより、施設利用者へのサービス向上に取り組んでいる。
	○業務の実施による、施設の利用促進	施設の利用促進のため、キャンプ用品店舗に対しての営業を実施したほか、ペット連れの利用者向けにパンフレットを作成し、動物病院やペットショップに配架するなど、認知度を高めた。	新たな顧客を獲得するため、戦略的な販路拡大に取り組んでいる点は評価できる。
	○施設の維持管理	毎月施設点検を行い、老朽化に伴い修繕が必要な箇所について、県と連携し修繕を進めた。	優先度を決め、安全面など施設運営に支障をきたすものを修繕対応している。
管理の人的物的基礎	○組織体制の見直し	業務の品質向上のため、経験豊富なスタッフの配置を変更するなど業務分担や役割を見直し、適切な業務体制を構築した。	状況に応じて、組織体制の見直しを行っている。
	○効率的な業務運営	施設の修繕については、業者へ依頼せず休暇村スタッフで行った。	必要な修繕を直営で行うなど、経費の縮減に努めている。
	○収支の適正	大雪の影響もあったが、新たな顧客を獲得するとともに、経費削減に努めた結果、黒字を確保した。	大雪により冬季の利用者が減少したが、外注業務の見直しなどの経費削減に取り組み、収支の適正化を行っている。
総括		G7広島サミット関係者の受入れによる特需の反動や記録的な大雪により減収となったが、人材のマルチタスク化や修繕の自主実施、備品消耗品類の比較購入等の費用削減策により黒字を確保することができた。	施設の利用促進のために、利用者ニーズに応じた新たな取組や必要な修繕を直営で行うなどの経費削減への取組により、黒字となったことは評価できる。

8 今後の方向性（課題と対応）

項目	指定管理者	県
短期的な対応 (令和7年度)	施設の故障箇所の迅速な修繕や清潔さを保つための丁寧な清掃を行い、安心して利用できる施設を維持する。また、利用促進につながる企画やイベントを実施する。	引き続き、利用促進に効果的な取組が実施できるよう、必要な支援を行う。
中期的な対応	老朽化が進む各施設の状況を把握し適切な維持管理を行うことで利便性を高め、サービスの向上を目指し、リピーターを増やすことで安定的な経営に努める。	指定管理者と協議しながら、優先度の高い施設から計画的に修繕等行うとともに、利用者増に向けた取組や効果的な施設運営に必要な支援を行う。